

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年2月13日

【四半期会計期間】 第43期第3四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

【会社名】 国際計測器株式会社

【英訳名】 KOKUSAI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松本 繁

【本店の所在の場所】 東京都多摩市永山六丁目21番1号

【電話番号】 042 - 371 - 4211

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 松本 博司

【最寄りの連絡場所】 東京都多摩市永山六丁目21番1号

【電話番号】 042 - 371 - 4211

【事務連絡者氏名】 取締役総務部長 松本 博司

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第3四半期 連結累計期間	第43期 第3四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	5,909,374	6,982,080	10,758,421
経常利益 (千円)	335,710	408,237	1,616,826
四半期(当期)純利益 (千円)	217,166	197,922	1,012,979
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,572	45,358	851,581
純資産額 (千円)	5,495,251	5,761,433	6,343,950
総資産額 (千円)	12,305,597	12,454,216	13,556,440
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	15.49	14.12	72.28
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	44.4	46.0	46.6

回次	第42期 第3四半期 連結会計期間	第43期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益又は 四半期純損失() (円)	1.62	9.16

(注1) 売上高には、消費税等は含まれておりません。

(注2) 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

(注3) 第42期第3四半期連結累計期間及び第42期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注4) 第43期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注5) 第42期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主力取引先である中国及び東南アジアの自動車及びタイヤメーカーを中心とした設備投資が、前連結会計年度に引き続き高い水準で推移しております。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、燃料電池や電気自動車等の環境に配慮した研究開発分野への集中が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、製造ライン用の試験装置であるバランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機と共に、研究開発用の試験装置である各種の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を積極的に展開し、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの製造ライン向けタイヤ関連試験機を中心に87億4千0百万円（前年同四半期比14.0%減）の受注を獲得いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、69億8千2百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業利益は4億5千2百万円（前年同四半期比16.1%減）、経常利益は4億8百万円（前年同四半期比21.6%増）、四半期純利益は1億9千7百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

売上高につきましては、タイヤ関連試験機を中心にバランスングマシンの出荷が増加したことによるものであります。

利益面につきましては、外貨建の売上高の割合が高いことから、円高ドル安等により売上総利益率が低下したものの、前年同四半期並みの利益を確保いたしました。

セグメントの状況は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国をはじめとするアジアの中堅タイヤメーカーからのバランスングマシンを中心に高い水準で受注高は推移しました。電気サーボモータ式振動試験機の本格的な事業展開を推進しておりますが、海外での主要決済通貨である米ドルの為替相場が円高に推移したことなどにより原価率が上昇し、売上高は5億6千6百万円（前年同四半期比3.9%増）、セグメント利益（経常利益）は1億2千7百万円（前年同四半期比65.2%減）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

材料試験機の受注高が堅調に推移したことや中国向けの大型案件が検収されたことから、売上高は7億7百万円（前年同四半期比68.3%増）、セグメント利益（経常利益）は8千7百万円（前年同四半期比1,504.9%増）となりました。

〔米国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからのバランスングマシンの受注高が堅調に推移したことや前連結会計年度から繰り越したバランスングマシンが予定通りに検収されたことから、売上高は5億8千3百万円（前年同四半期比110.0%増）、セグメント利益（経常利益）は1億2千8百万円（前年同四半期は3千1百万円の損失）となりました。

〔韓国〕

前連結会計年度に引き続き自動車及びタイヤ関連メーカーからのバランスングマシンやシャフト歪自動矯正機の受注高が堅調に推移したことから、売上高は10億7百万円（前年同四半期比7.2%増）、セグメント利益（経常利益）は2億6千3百万円（前年同四半期比14.4%増）となりました。

〔中国〕

家電及び自動車関連メーカーからバランスングマシンを中心に受注しておりますが、一部の納品検収が第4四半期以降にずれこんだことや棚卸資産に対する評価減を行ったことなどから、売上高は3億4千4百万円（前年同四半期比27.4%減）、セグメント損失（経常損失）は4千5百万円（前年同四半期は6千6百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、81億6千0百万円（前連結会計年度末比11億2千8百万円減）となりました。これは、受注残高の増加に伴い仕掛品が増加（前連結会計年度末比8億4千5百万円増）したものの、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比19億1千8百万円減）したことが主たる要因であります。

固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、42億9千3百万円（前連結会計年度末比2千5百万円増）となりました。これは、のれんが償却により減少（前連結会計年度末比5千2百万円減）したものの、役員及び従業員を対象とした保険積立金が増加（前連結会計年度末比1億2千9百万円増）したことが主たる要因であります。

流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、48億6千3百万円（前連結会計年度末比2億8千7百万円減）となりました。これは、運転資金を調達したことにより短期借入金が増加（前連結会計年度末比5億円増）したものの、法人税等を納付したことにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比7億3千2百万円減）したことが主たる要因であります。

固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、18億2千8百万円（前連結会計年度末比2億3千2百万円減）となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金へ振替えたことにより長期借入金が減少（前連結会計年度末比2億5千8百万円減）したことが主たる要因であります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、57億6千1百万円（前連結会計年度末比5億8千2百万円減）となりました。これは、期末及び中間配当を実施したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比4億3千2百万円減）したことや円高ウォン安等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比1億6千9百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は2千6百万円であり、ます。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,200,000
計	21,200,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,200,000	14,200,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100 株であります。
計	14,200,000	14,200,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日		14,200,000		1,023,100		936,400

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成23年9月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 184,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,014,200	140,142	
単元未満株式	普通株式 1,300		
発行済株式総数	14,200,000		
総株主の議決権		140,142	

(注) 「単元未満株式」には自己株式が39株含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 国際計測器株式会社	東京都多摩市永山 6丁目21番1号	184,500		184,500	1.30
計		184,500		184,500	1.30

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,539,388	2,657,170
受取手形及び売掛金	4,038,305	* 1 2,119,824
商品及び製品	264,982	178,877
仕掛品	1,405,028	2,250,211
原材料及び貯蔵品	578,073	511,677
繰延税金資産	274,869	226,753
その他	195,668	221,706
貸倒引当金	7,667	5,778
流動資産合計	9,288,648	8,160,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,579,212	1,564,488
機械装置及び運搬具	172,880	179,436
土地	1,671,246	1,667,869
その他	167,378	149,344
減価償却累計額	1,068,879	1,084,133
有形固定資産合計	2,521,838	2,477,004
無形固定資産		
のれん	105,844	52,922
その他	57,083	57,145
無形固定資産合計	162,927	110,067
投資その他の資産		
投資有価証券	153,454	177,470
長期貸付金	37,379	35,213
繰延税金資産	121	110
保険積立金	1,334,978	1,464,751
その他	75,895	55,431
貸倒引当金	18,800	26,276
投資その他の資産合計	1,583,027	1,706,700
固定資産合計	4,267,792	4,293,773
資産合計	13,556,440	12,454,216

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,217,836	2,242,876
短期借入金	250,000	750,000
1年内償還予定の社債	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	630,906	672,008
未払法人税等	776,898	44,674
賞与引当金	128,297	61,610
製品保証引当金	231,804	240,628
前受金	616,486	577,417
その他	198,684	274,607
流動負債合計	5,150,914	4,863,824
固定負債		
長期借入金	1,616,864	1,358,842
繰延税金負債	135,703	133,009
退職給付引当金	180,900	201,864
役員退職慰労引当金	123,956	131,023
資産除去債務	4,151	4,219
固定負債合計	2,061,575	1,828,959
負債合計	7,212,490	6,692,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	5,143,788	4,711,013
自己株式	150,917	150,946
株主資本合計	6,952,370	6,519,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,634	68,480
為替換算調整勘定	687,196	856,496
その他の包括利益累計額合計	638,561	788,016
少数株主持分	30,140	29,882
純資産合計	6,343,950	5,761,433
負債純資産合計	13,556,440	12,454,216

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,909,374	6,982,080
売上原価	3,631,443	4,671,248
売上総利益	2,277,931	2,310,831
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	151,231	144,861
貸倒引当金繰入額	-	3,266
役員報酬	66,590	126,150
給料手当及び賞与	409,354	444,865
賞与引当金繰入額	21,533	23,227
退職給付費用	18,883	20,208
役員退職慰労引当金繰入額	6,600	7,067
運賃	186,280	198,572
減価償却費	18,563	16,891
研究開発費	29,512	26,510
その他	829,437	846,251
販売費及び一般管理費合計	1,737,986	1,857,872
営業利益	539,944	452,959
営業外収益		
受取利息及び配当金	29,148	37,120
その他	15,652	29,560
営業外収益合計	44,800	66,681
営業外費用		
支払利息	22,518	21,430
持分法による投資損失	2,407	75
売上債権売却損	4,575	6,349
支払手数料	3,937	21,105
為替差損	209,527	50,281
保険解約損	2,608	665
その他	3,458	11,494
営業外費用合計	249,033	111,403
経常利益	335,710	408,237
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,738	-
特別利益合計	2,738	-
特別損失		
固定資産除却損	677	1,917
固定資産売却損	14	261
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,848	-
特別損失合計	2,541	2,179
税金等調整前四半期純利益	335,907	406,058

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
法人税、住民税及び事業税	192,726	168,500
法人税等調整額	78,980	39,760
法人税等合計	113,746	208,260
少数株主損益調整前四半期純利益	222,161	197,797
少数株主利益又は少数株主損失()	4,994	124
四半期純利益	217,166	197,922

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222,161	197,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,374	19,845
為替換算調整勘定	240,997	172,006
持分法適用会社に対する持分相当額	966	279
その他の包括利益合計	219,589	152,439
四半期包括利益	2,572	45,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,328	48,467
少数株主に係る四半期包括利益	4,900	3,108

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<p>(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)</p> <p>第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。</p> <p>(法人税率の変更等による影響)</p> <p>「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。</p> <p>これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.69%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.01%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.64%となります。</p> <p>この変更による影響は軽微であります。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- * 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
受取手形	-	53,075千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
減価償却費	55,460千円	50,607千円
のれんの償却額	52,922千円	52,922千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月18日 定時株主総会	普通株式	140,155	10	平成22年3月31日	平成22年6月21日	利益剰余金
平成22年11月9日 取締役会	普通株式	140,155	10	平成22年9月30日	平成22年12月6日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月17日 定時株主総会	普通株式	350,387	25	平成23年3月31日	平成23年6月20日	利益剰余金
平成23年11月9日 取締役会	普通株式	280,309	20	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	4,512,257	420,589	242,593	467,761	258,964	5,902,166	7,207	5,909,374
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	363,391	-	35,414	471,631	215,661	1,086,098	49,140	1,135,238
計	4,875,649	420,589	278,007	939,392	474,626	6,988,265	56,348	7,044,613
セグメント利益 又は損失()	367,925	5,459	31,221	229,870	66,646	638,680	20,570	659,250

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	638,680
「その他」の区分の利益	20,570
セグメント間取引消去等	323,539
四半期連結損益計算書の経常利益	335,710

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	4,796,999	707,882	583,408	653,401	225,515	6,967,208	14,871	6,982,080
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	269,905	-	455	353,689	118,931	742,981	56,353	799,334
計	5,066,904	707,882	583,864	1,007,091	344,446	7,710,189	71,225	7,781,415
セグメント利益 又は損失（ ）	127,926	87,614	128,702	263,022	45,864	561,402	14,964	576,366

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	561,402
「その他」の区分の利益	14,964
セグメント間取引消去等	168,128
四半期連結損益計算書の経常利益	408,237

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益	15円49銭	14円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	217,166	197,922
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	217,166	197,922
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,015	14,015
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成16年6月29日開催の定時株主総会にて付与した新株予約権については、平成22年7月1日をもって失効しております。	平成17年6月24日開催の定時株主総会にて付与した新株予約権については、平成23年7月1日をもって失効しております。

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前第3四半期連結累計期間は希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、当第3四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第43期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)中間配当については、平成23年11月9日開催の取締役会において、平成23年9月30日現在の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- (1) 配当金の総額 280,309千円
- (2) 1株当たりの金額 20円00銭
- (3) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成23年12月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月9日

国際計測器株式会社
取締役 会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 谷 和 正 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 東 葎 新 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている国際計測器株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、国際計測器株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。